



平成26年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所

コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲葉 明

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長

(氏名) 江口 勤

TEL 03-3759-5181

四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第3四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年7月期第3四半期 | 23,130 | 6.7 | 1,765 | 40.0 | 1,951 | 40.3 | 1,599 | 106.7 |
| 25年7月期第3四半期 | 21,679 | 2.2 | 1,260 | 261.1 | 1,391 | 178.4 | 773 | 610.3 |

(注) 包括利益 26年7月期第3四半期 1,602百万円 (84.7%) 25年7月期第3四半期 867百万円 (534.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年7月期第3四半期 | 91.94 | — |
| 25年7月期第3四半期 | 45.57 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年7月期第3四半期 | 49,059 | 34,983 | 71.3 |
| 25年7月期 | 46,114 | 33,007 | 71.6 |

(参考) 自己資本 26年7月期第3四半期 34,983百万円 25年7月期 33,007百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年7月期 | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |
| 26年7月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 26年7月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,570 | 4.6 | 2,400 | 25.9 | 2,640 | 26.4 | 2,030 | 59.0 | 116.42 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年7月期3Q | 17,922,429 株 | 25年7月期 | 17,922,429 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年7月期3Q | 361,658 株 | 25年7月期 | 939,814 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年7月期3Q | 17,395,718 株 | 25年7月期3Q | 16,982,616 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に添付する四半期レビュー報告書は、本日受領予定であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により、輸出や生産の持ち直し、企業収益の改善など明るい兆しが見え始めました。しかしながら、ウクライナ、クリミア地方での地政学的リスク、中国の「影の銀行」に対する不安、輸入価格の上昇などによる国内景気を下押しするリスク要因があり、依然として先行きの不透明感は拭えない状況となっております。

このような状況のもと、当社グループが関連する鋼製物置業界におきましては、物置需要動向に直接関連する新設戸建住宅着工戸数は、消費増税前に若干の減少傾向となったものの、回復の動きがあり、雇用や所得環境の改善が伴えば更に加速するものと思われれます。オフィス家具業界につきましては、景気の回復に伴い、オフィスの移転需要やリニューアル需要が増加したものの、投資に対する企業の慎重な姿勢と激しい価格競争により、極めて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置セグメントにおきましては、一昨年10月に「圧倒的高さと存在感」を誇る『イナバ倉庫』、昨年5月には断熱材をプラスした『NEXTA+（ネクスタプラス）』を発売いたしました。オフィス家具セグメントにおきましては、独自製品とOEM製品との生産合理化に向けた部材の共通化を実施し、部品点数削減及び軽量化を進めたデスク、ワゴンの生産を開始し、昨年1月には『DUENA（デュエナ）』（業界推奨H720デスク）、昨年2月には『Yera（イエラ）』（スタンダードチェア）、1月には新製品として『Sonna（ソナ）』（個人用防災備蓄ボックス）を発売いたしました。

以上の諸施策を推進し業績の向上に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.7%増加の23,130百万円となりました。損益面につきましては、製造原価の低減に取り組んだ結果、営業利益は1,765百万円（前年同期比40.0%増）、経常利益は1,951百万円（前年同期比40.3%増）、四半期純利益は1,599百万円（前年同期比106.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高)：当第3四半期連結累計期間（自 平成25年8月1日 至 平成26年4月30日）

| セグメントの名称 | 金額（百万円） | 前年同期比（%） | 構成比（%） |
|----------|---------|----------|--------|
| 鋼製物置 | 15,768 | 112.9 | 68.2 |
| オフィス家具 | 7,362 | 95.4 | 31.8 |
| 合計 | 23,130 | 106.7 | 100.0 |

(鋼製物置)

小型収納庫におきまして東北地方における前期の仮設住宅向け納入に伴う反動減があるものの、消費増税前の駆け込み需要をうまく取り込めた事、また、全国的な防災意識の高まり、ガレージシリーズ、イナバ倉庫等大型製品が寄与し、売上高は15,768百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は2,389百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

(オフィス家具)

部材の共通化を実施し、部品点数削減及び軽量化を進めたデスク、ワゴンの生産を開始するとともに、顧客の要望に合致した新製品（デスク、チェア、地震対策オプション）の開発に努めてまいりました。イナバブランドにおいては、消費増税前の駆け込み需要により売上が伸びたものの、OEM先向けの売上は振るわず、依然として熾烈な価格競争が続いている状況にあります。

その結果、売上高は7,362百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は43百万円（前年同期は61百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が1,443百万円、有価証券が1,300百万円増加したこと等により2,944百万円増加して、49,059百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が1,016百万円増加したこと等により967百万円増加して、14,075百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ、四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,253百万円増加したこと等により1,976百万円増加して、34,983百万円となりました。その結果、自己資本比率は71.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年7月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,138,840 | 17,360,847 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,439,729 | 8,883,319 |
| 有価証券 | — | 1,300,000 |
| 商品及び製品 | 1,600,741 | 1,582,460 |
| 仕掛品 | 168,464 | 154,229 |
| 原材料及び貯蔵品 | 284,038 | 295,299 |
| その他 | 457,803 | 609,514 |
| 貸倒引当金 | △5,252 | △6,304 |
| 流動資産合計 | 26,084,365 | 30,179,368 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,506,720 | 3,759,587 |
| 土地 | 12,277,908 | 11,271,049 |
| その他（純額） | 1,525,696 | 1,233,203 |
| 有形固定資産合計 | 17,310,325 | 16,263,840 |
| 無形固定資産 | 78,618 | 150,794 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,641,852 | 2,465,691 |
| 貸倒引当金 | △444 | △445 |
| 投資その他の資産合計 | 2,641,408 | 2,465,245 |
| 固定資産合計 | 20,030,352 | 18,879,880 |
| 資産合計 | 46,114,717 | 49,059,248 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,750,637 | 7,766,917 |
| 未払法人税等 | 359,456 | 678,386 |
| 賞与引当金 | 256,049 | 536,781 |
| その他 | 2,458,952 | 1,973,186 |
| 流動負債合計 | 9,825,096 | 10,955,270 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 2,099,377 | 1,910,205 |
| 役員退職慰労引当金 | 403,582 | 419,844 |
| その他 | 779,470 | 789,943 |
| 固定負債合計 | 3,282,430 | 3,119,992 |
| 負債合計 | 13,107,526 | 14,075,263 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年7月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,132,048 | 1,132,048 |
| 資本剰余金 | 763,500 | 987,847 |
| 利益剰余金 | 31,820,189 | 33,074,161 |
| 自己株式 | △805,779 | △310,093 |
| 株主資本合計 | 32,909,958 | 34,883,964 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 97,232 | 100,021 |
| その他の包括利益累計額合計 | 97,232 | 100,021 |
| 純資産合計 | 33,007,191 | 34,983,985 |
| 負債純資産合計 | 46,114,717 | 49,059,248 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 21,679,877 | 23,130,230 |
| 売上原価 | 15,907,333 | 16,559,587 |
| 売上総利益 | 5,772,543 | 6,570,643 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,511,872 | 4,805,129 |
| 営業利益 | 1,260,671 | 1,765,513 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17,907 | 13,842 |
| 受取配当金 | 1,733 | 2,319 |
| 作業くず売却益 | 69,600 | 89,063 |
| 電力販売収益 | 11,237 | 85,794 |
| 雑収入 | 37,692 | 54,052 |
| 営業外収益合計 | 138,170 | 245,072 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,599 | 893 |
| 電力販売費用 | 6,016 | 50,604 |
| 雑損失 | 24 | 7,579 |
| 営業外費用合計 | 7,641 | 59,077 |
| 経常利益 | 1,391,200 | 1,951,508 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 713 | 655,932 |
| 保険解約返戻金 | 5,132 | — |
| 特別利益合計 | 5,846 | 655,932 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 34,713 | 14,519 |
| その他 | 10,697 | 1,301 |
| 特別損失合計 | 45,411 | 15,820 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,351,634 | 2,591,620 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 609,710 | 851,809 |
| 法人税等調整額 | △31,910 | 140,404 |
| 法人税等合計 | 577,799 | 992,214 |
| 四半期純利益 | 773,835 | 1,599,405 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 773,835 | 1,599,405 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 93,430 | 2,788 |
| その他の包括利益合計 | 93,430 | 2,788 |
| 四半期包括利益 | 867,265 | 1,602,194 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 867,265 | 1,602,194 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 鋼製物置 | オフィス家具 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,962,942 | 7,716,935 | 21,679,877 | — | 21,679,877 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 13,962,942 | 7,716,935 | 21,679,877 | — | 21,679,877 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,958,005 | △61,666 | 1,896,339 | △635,667 | 1,260,671 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△635,667千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては34,713千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 鋼製物置 | オフィス家具 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,768,007 | 7,362,223 | 23,130,230 | — | 23,130,230 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 15,768,007 | 7,362,223 | 23,130,230 | — | 23,130,230 |
| セグメント利益 | 2,389,050 | 43,506 | 2,432,556 | △667,042 | 1,765,513 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△667,042千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては14,519千円であります。